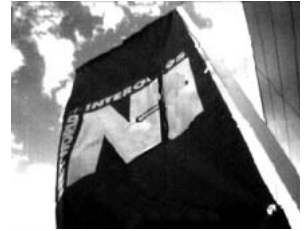


news.



世界最大のネットワーク・イベント NETWORLD+INTEROP '95 ラスベガス開催

世界最大のネットワーク関連のコンファレンスと展示会である「NETWORLD+INTEROP '95」(主催:ソフトバンクエクスポ)が、3月27日～31日までの5日間、米国ラスベガスのコンベンションセンターで開催された。ラスベガスのほか、アトランタ、パリ、フランクフルト、東京とツアー形式で開かれているこのイベント、昨年初めて日本で開催され、参加した方も多いのではないだろうか。今回は、昨年までの主催者であった米国ジフ・デービス社の展示会部門をソフトバンク社が買収した後の初めての開催である。

話題は高速技術から
エレクトリックコマースまで
コンファレンス

NETWORLD+INTEROPの目玉はなんといっても充実したコンファレンスやチュートリアルセッションである。第一線の技術や動向に触れられるというのは、ネットワークエンジニアやマーケティング担当者にとっては非常に魅力あるイベントである。今回も数多くのセッションがあり、「世界最大のネットワークイベント」の名にふさわしいものだった。内容は、高速ネットワークをはじめとしたネットワーク技術や、現在のインターネットの状況を背景として、WWW関連のものが増えている。また、エレクトリックコマース(電子商取引)実現のための暗号化技術の問題などについてのセッションが増えているのも特徴的だ。

パソコン系ソフトメーカー
のブースが増加
展示会

およそ500社が出展した。ATMや100Mbpsのイーサネットなどの高速ネットワーク関連機材の展示が目立っている。これらの技術や機材に関しては、国内の展示会でもよく見かけるのですでに驚くべきことではなくなってきているのかもしれない。NETWORLD+INTEROPの会場には「INTEROP NET」というネットワークが張り巡らされている。各ブースはこのネットワークに接続し、相互接続のデモンストラーションと各メーカーの相互接続のテストベッドとなっている。

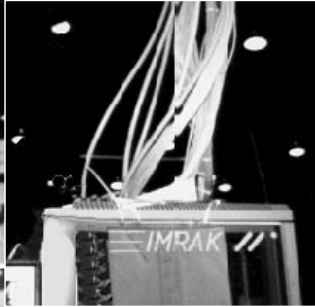
今回の展示会で特筆すべきは、マイクロソフト、ロータスなどのパソコン用ソフトウェアハウスのブースが例年よりも大きく



なっていたことだろう。前回のラスベガスのときも、これらの企業のブースはもちろんあったわけだが、それほど大きな展示ではなかった。しかし、今回はCOMDEXなみのかなり大きなブースを開いており、各社のネットワーク関連製品への取り組みの真実さを感じることができる。それと同時に、これまでのネットワーク機材の展示会から、ソフトウェアも含めた「利用の展示会」へ移ってきたといえるだろう。マイク



展示会場



膨大な数のケーブルが各ブースをつないでいる。



ターミナルクラスタ

ロソフト社では、「バックオフィス」というサーバー群がメインであり、一部で期待されているウィンドウズ95は扱っている程度。とくに最近とりざたされている「プロバイダービジネス」に関しては話題がない。

パソコンLANで大きなシェアを持つノベル社は、最大クラスのブースでネットワーク4.0やグループワイズなどのアプリケーションを展示した。今後マイクロソフト社がネットワーク機能を標準で装備したオペレーティングシステムを計画していることから、今年度のノベル社の戦略は気になるところである。大手パソコン通信サービス会社のコンピュータムも、TCP/IPによるインターネット接続サービスと先日買収して話題になったスプライ社のTCP/IPアプリケーションのデモンストレーションをしていた。

米国内の回線提供者（キャリア）はこぞってプロバイダービジネスに参入しており、日本とのスケールの違いを感じさせる。とくに大手キャリアの一つであるMCIは、MarketPlaceMCIというショッピングモールの計画があり、今後が期待される。

一方、いま話題のネットスケープ社のブースはなぜか小さく（ガイドブックでは、かなり大きなブースが割り当てられているのだが）、日本での話題性とは対照的だ。

WWWを見ながら 来場者同士アイコンで会話 ターミナルクラスタ

NETWORLD+INTEROPの会場には、ターミナルクラスタが用意されている。ウィンドウズ、マッキントッシュ、ワークステーションなどがたくさん並び、それらを自由に使ってメールを読んだり、そこにインストールされているTCP/IPアプリケーションパッケージを試したりすることができる。とくにウィンドウズパソコンには、ノベル社の「グループワイズ」がインストールされており、来場者間でメッセージを交換することができるようになっている。

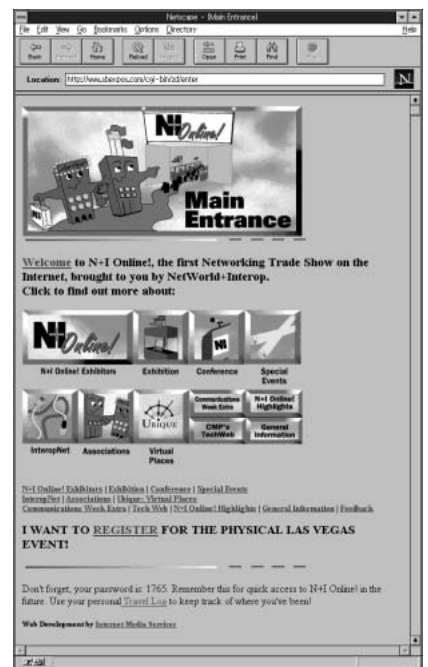
また、今回は「ユビーク」といわれるソフトウェアがインストールされていた。このソフトウェアを起動すると、後で紹介する「N+1 Online!」のページが表示され、「ユビーク」を立ち上げている人の顔のアイコンが画面上に表示される。このアイコンは、自分の写真をGIF形式にしたものを使うことができる。そして、このアイコンをクリックすることで、その人との間で音声の通信ができる。つまり、同じWWWの画面を見ながら話ができるわけだ。

余談ではあるが、会場ではマッキント

ッシュが少ない。日本と比較して、米国ではマッキントッシュが苦戦を強いられていると伝えられているが、マルチベンダーのネットワークの展示会でこれほどまでに目立たないというのはさびしい限りだ。

インターネットの 仮想展示会場にも行ってみたい 「N+1 Online!」

NETWORLD+INTEROPではインターネット上での仮想展示会場として「N+1 Online!」というWWWサーバーが作られた。これはWWW上に各社のブースを作り、これをクリックしながら、あたかも展示を見たかのように、各社の製品の情報を得ていくというものだ。まず、このサーバーに入るためには、簡単なレジストレーションを行う。利用者の電子メールアドレスとレジストレーション時に与えられたパスワード（4桁の番号）を入れたら、展示会に入場できる。各社の製品内容はもちろん、各



N+1 Online!

社に対して電子メールを出すこともできる。こうした試みは、展示会としてのあり方としては非常に興味深く、今後リアルな展示会ではなくて、こうした仮想的な展示会ですんでしまうようなものもあるかもしれない。今後は、重いカタログを手にかけて広い会場を回らなくても、必要な資料はネットワークで手に入れることができるようになるかもしれない。URLは、<http://www.sbxpos.com/>である。ただし、本誌発売時点でのようになっているかは不明。



カール・マラムッド氏

の目的は、現在、実世界にあるものをインターネットの世界にもちこみ、インターネットを実世界のまだ知らない人に紹介するということだ。

実行委員は、ピント・サーフ(MCI)、カール・マラムッド(インターネットマルチキャストサービス)、マーシャル・ローズ(ファーストバーチャル)などそうそうたるメンバー。詳細は、<http://www.town.hall.org/fair/>にある。次のような企業、組織が参加を表明している。

Official Organizers
Cisco Systems
Internet Multicasting Service
MCI
NBC
Newbridge Networks
Quantum
RR Donnelley Financial
SSDS
Sun Microsystems
Softbank Expos
Official Sponsors
UUNET Communications
Participating Institutions
Internet Multicasting Service
Kennedy Center for the Performing Arts
Monitor Radio
National Press Club
Infomart
WIDE Project Japan
Huis Ten Bosch, Nagasaki
Tokyo Aquarium
New York University

MIT
Fujisawa Campus, Keio University
Aw Taw Kaw Market
Sunsite Thailand
Network Technology Laboratory
ThailandWorld Radio Network
Real World Studios
Sunsite UK
Imperial College
Internet Society
RIPE NCC
NIKHEF

カール・マラムッドが発表した
新しい万国博覧会
INTERNET 1996
WORLD EXPOSITION

カール・マラムッド氏といえば、前号でも紹介した「インターネットマルチキャストサービス」の主宰者である。彼が今回のNETWORLD+INTEROPの会場で発表したのが「INTERNET 1996 WORLD EXPOSITION」(インターネット万国博覧会)である。

世界各地で開催されてきた万国博覧会は、産業としても文化としても次のステージに上がるための大きな役割を担ってきた。そして、パリ博のエッフェル塔のように、そのシンボルも残されてきた。このINTERNET 1996 WORLD EXPOSITIONは、アメリカ、日本、タイ、オランダ、イギリスを『インターネットレールロード』というT3(45Mbps)の回線で結び、その周りにパピリオンに相当するサーバーを設置しようというものである。テーマとしては『インターネット公会堂』『グローバルスクールハウスパピリオン』『メディアの将来パピリオン』、『トースターネットパピリオン(普通ではないものをインターネットにつなぐパピリオン)』『スモールビジネスパピリオン』などが計画されている。パピリオン

日米最大の差は
ローカルネットワークの普及
がんばれ日本

NETWORLD+INTEROPの展示会を見ていると、日本ではインターネットに関して考察する前に、ローカルエリアネットワークに関して先に考察すべきではないかという気にさせられる。考えてみれば、インターネットとは「ネットワーク同士の接続」ということなのだから、そもそもネットワークがなければ、接続もできないというわけだ。しかし、現在の日本で稼働しているコンピュータのうち、ネットワークにつながっているのは、20%弱程度というデータもある。一方米国では、60%程度がネットワークにつながっているということを考えると、その差は歴然としている。社内の電子メールやファイル共有などのネットワーク化が進んでいないところで、WWWを使ったエレクトリックコマースなどの可能性を考察しても何の意味があるのだろうか？

もちろん、日本では、ダイヤルアップIP接続が先に盛り上がりを見せており、独自の発展を遂げる可能性もあるが、ローカルエリアネットワークなど、組織内のネットワークの促進を考えることも必要だろう。インターネットマガジンでは、こうした記事も予定しているので、ご期待いただきたい。

ネットスケープ・コミュニケーションズ 日本法人設立 インターネット商利用のための 製品群を発表

WWWブラウザで圧倒的なシェアを誇る「ネットスケープ・ナビゲーター」。その開発元である米ネットスケープ・コミュニケーション・コーポレーションズ(米本社・カリフォルニア州マウンテンビュー市)の日本法人が設立された。

東京港区赤坂にオフィスを置く新会社(株)ネットスケープ・コミュニケーションズの代表取締役には、米本社副社長のトッド・ルラン・ミラー氏が就任した。国内で実務を担当するカントリーマネージャーには杉原信一氏が就任。また、西武百貨店取締役の水野誠一氏をアドバイザーとして迎えている。ネットスケープ・コミュニケーションズ・コーポレーションにとっては初の海外法人で、日本におけるソフトの総輸入元となる。

今後販売する商品は、サーバー・クライアントソフトの「ネットスケープナビゲーター」、サーバー用ソフトの「ネットサイト」、そしてさまざまな業務用に開発された統合アプリケーション・ソリューション

ソフトである。

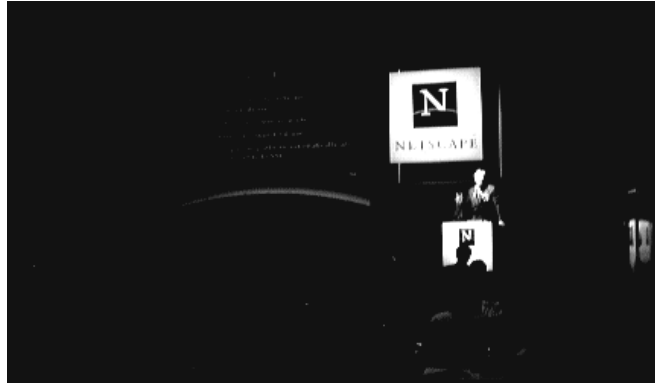
「ネットスケープ・ナビゲーター」は、Windows、マッキントッシュ、X Window用がある。3月

6日公開された1.1のベータバージョンで、初めて日本語メニューに対応した。HTTP、FTP、SMTPなどインターネット上の一般プロトコルに対応し、高速性を売り物にしている。

サーバー用ソフトの「ネットサイト」は2種類あり、なかでもセキュリティ機能を搭載した「ネットサイトコマースサーバー」が注目される。ユーザーネームとパスワードの確認にHTTP/1.0アクセス承認を採用し、RSAデータセキュリティ社の公開鍵暗号化技術によってクライアントとサーバー間のデータの流れを暗号化している。また、クライアントとサーバーとの間でサーティフィケートとデジタルサイン(認証)を使った「サーバーオーセンティケーション」方式を使い、情報を提供する側と利用する側を合わせたセキュリティが確保される。

ネットサイトには、このセキュリティ機能を省略した「ネットサイトコミュニケーションズサーバー」もある。オープンな情報提供をする場合にはこれで十分だ。どちらもHTTPプロトコルに準拠し、主要UNIX-OSの対応版を発売する。

商品名は未定だが、大規模な電子取引を計画する企業に向けて、ネットサイトコマースサーバーをベースに機能を大幅に拡



3月22日の記者発表には米本社からジェームス・エイチ・クラーク会長も来日した。

大したのが統合アプリケーションソリューションソフトウェアだ。現在のところ、発表されているアプリケーションは4種類ある。

まず、バーチャルショップやショッピングモールを設置・運用するための「マーチャントサーバー」。オンライン出版のための「パブリケーションサーバー」、電子メールや掲示板などのコミュニティ・スペースを提供する「コミュニティサーバー」、そしてこれらの支払い処理などに利用される「トランザクションサーバー」。トランザクションサーバーでは、クレジットカードの承認もできる。

以上の製品は、米国で日本語化の作業が進められており、5月末に販売をスタートする予定だ。

ネットスケープ・コミュニケーションズと現在販売代理店契約を結んでいるのは、3月末現在、伊藤忠テクノサイエンス(株)、(株)NTT PCコミュニケーションズ、ソニー(株)、(株)ソフトウェアジャパン、ソフトバンク(株)、(株)電通国際情報サービス、(株)東芝(東芝情報システム)、日本電気(株)、三菱商事(株)の9社になっている。問い合わせ (株)ネットスケープ・コミュニケーションズTEL03-5562-3106



国内の実務責任者の杉原信一氏

相次ぐサービスプロバイダーの新規参入 KDD、ネットワーク情報サービス、アスキー

春の到来とともに、ネットワークサービスプロバイダー（NSP）の新規参入が相次いでいる。

KDDは米国MCI社を介して米国および世界中のインターネット網と接続するインターネット国際ゲートウェイサービス「インターネットKDD」の取り扱いを4月18日から開始した。

インターネットKDDでは、顧客とKDDとの間に加入契約回線を設定し、IPプロトコルによって9600bpsから1.5Mbpsの速度で米国MCI側のゲートウェイまでデータ転送をする。たとえば64Kbpsで従来の国際専用回線を使用すると通信料は月額で約100万円かかるが、このサービスを利用すると国内プロバイダー並みの35万円になる。

当初、アクセスポイントは東京（2か所）、千葉、名古屋、京都、大阪、神戸、山口、および福岡などの10か所に設置する。1年間は試験サービスとして需要調査やネットワーク管理の検証を行い、その後、本サー

ビスに移行する。とくに外資系企業やNSPにとっては魅力あるサービスということが出来る。

ネットワーク情報サービス（NIS）は、4月1日から商用インターネット接続サービス「NISインターネット・サービス」を開始した。国内においてはNSPIXPに接続することで他の商用NSPとの相互通信を可能にし、また海外とは米国MCI社および英国BT社と接続することによって世界中のインターネットとの接続を可能にしている。

サービスの品目は、64Kbpsから1.5Mbpsの専用線IP接続サービス、ダイアルアップIP接続サービスの他に、ISDNおよびフレームリレーによる月額固定料金制の接続サービスも提供されている。

個人契約のダイアルアップIP接続サービスの料金は、サービス加入料が3500円、接続料金は4時間までが固定制で月額2500円、それを超える分は1分20円と、かなり格安に設定されている。接続ポイントは、

国内の主要都市37か所の他に、全世界100か国にも置かれているのが特徴だ。

アスキーは、「アスキー・インターネット接続サービス」を4月4日より開始した。提供しているサービスは、ダイアルアップIP接続サービスのみ。28.8Kbpsによる公衆回線接続の他に、ISDN回線による64Kbpsの同期接続をサポートしているのが特徴だ。料金は、登録料が1000円、接続料は基本料金なしで、1分10円。ただし90時間利用しないと登録が抹消される。

オンラインサインアップ（電話番号は、03-3406-0813「dialup」でログイン）の他に、書類による申し込みも可能だ。

今後は、いくつかの大手メーカーも同様のプロバイダー事業を開始しようとする動きがあり、競争はますます激化することが予想される。

問い合わせ

KDD

TEL0120-199100

ネットワーク情報サービス

TEL0120-07-0025

アスキー インターネット事務局

TEL03-3486-4548

インターネットの現状と利用法をテーマにJCRNがセミナー開催

研究ネットワーク連合委員会（JCRN）では、インターネットネットワークの活性化を図るため、「インターネットの現状と利用法」というテーマのセミナーを以下の要領で開催する。

日時：1995年5月23日 13時～17時30分
 場所：日本教育会館一ツ橋ホール
 主催：研究ネットワーク連合委員会（JCRN）
 後援：インターネットサービス連絡会
 日本インターネット協会（IAJ）
 日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）
 参加費：資料集代 3,000円

プログラム（講演題目は仮題）

- ・セッションA 「インターネットとは」
インターネット概説、米国の現状、日本の現状と将来の見直し
- ・セッションB 「インターネットに接続する」
インターネット活用事例、ダイアルアップによる接続、専用回線による接続、パソコンネットワークからの利用
- ・セッションC 「インターネットを高度利用する」
インターネット活用法、マルチメディアとインターネット、ネットワークのセキュリティ（なお、セッションBとセッションCは並行して開催する）

申し込み方法

同時に行われるセッションB（「インターネットに接続する」）とセッションC（「インターネットを高度利用する」）のうち、どちらに参加を希望するか明記し、往復はがき、または電子メールで連絡すること。

郵送先：〒243-01 厚木市森の里宮宮 3-1
 NTT基礎研究所 科学部 JCRNセミナー係
 電子メール：jcrn-seminar@ntt-20.ntt.jp

問い合わせは、

jcrn-seminar-request@ntt-20.ntt.jpまで。
 なお、プログラムの詳細は、JCRNホームページ
<http://www.sapmed.ac.jp/satui/ana1/tatsumi/jcrn.html>でも閲覧できる。

IIJ と富士通InfoWeb が 基本料金を値下げ

大手プロバイダーのインターネットインシアティブ (IIJ) と富士通 InfoWeb がそろってサービス料金を値下げした。IIJ は 64Kbps から 1.5Mbps までの専用線接続で、64Kbps の場合、現行の 45 万円から 42 万円へと 3 万円の値下げ。128Kbps と 192Kbps でそれぞれの値下げ幅は 13 万 5 千円 (75 万円から 61 万 5 千円) と 13 万円 (95 万円から 82 万円) となっている。一方、富士通 InfoWeb は、64kbps の月額料金をこれまでの 38.5 万円から 19.6 万円にするなど最大 49% の大幅値下げ。低料金を売り物に 4 月からスタートした東京インターネットと同額に設定している。専用線だけでなく、企業向けダイヤルアップも初期契約料を 3 万円から 1 万円に、1 分当たりの課金を 30 円から 20 円に下げている。

問い合わせ IIJ TEL03-5276-6240

InfoWeb TEL03-3437-5256

富士通 InfoWeb が個人向け ダイヤルアップ IP 接続開始

富士通は主に企業ユーザーを対象として InfoWeb を提供してきたが、4 月 21 日から新たに低価格の個人向けダイヤルアップ IP サービスを開始した。アクセスポイントは従来の InfoWeb の全国 9 か所の NOC を利用する。サービス開始時点でアクセスできるのは東京だけだが、6 月下旬に大阪、9 月末までに札幌、仙台、富山、川崎、名古屋、広島、福岡が利用できるようになる予定。

費用は加入料が 5,000 円 (4,000 円分の使用権付き) で、接続料が 1 分 20 円、月額最低利用料が 2,000 円となっている。利用料金はクレジットカードで決済できる。

同社では、このサービスに 1 年間で 1 万人の個人ユーザーの加入を見込んでいる。問い合わせ 富士通アウトソーシング事業部 営業支援部 インターネット販売推進グループ TEL03-3437-5256

ネットワークの規模に課金する アーキテックアンドアーツの新料金

今年の 1 月から専用線によるインターネット接続サービスの試験運用を行ってきたアーキテック・アンド・アーツは、正式サービスの開始に向けて、新料金体系を決定した。新料金は専用線の速度によらず、接続するネットワークの大きさによって決まる月額固定料金。これは、組織の大小やトラフィックの大小に関係なく同一料金を徴収する従来の方式の問題点を改めようというもの。とくに中小企業や使用頻度の低いユーザーには朗報だ。ネットワークの大きさは、クラス C ネットワーク 1 本を 1、クラス B ネットワーク 1 本を 256 と数えることで計算する。たとえば基本的な契約でドメイン 1 個、ネットワーク 1 個の場合初期費用は 70,000 円、月額料金は 97,000 円になるという。

問い合わせ アーキテック・アンド・アーツ TEL03-3942-8246 (担当・本多)

地方の低価格プロバイダー続々登場 自治体から地元企業まで

プロバイダーとそのアクセスポイントは大都市、とりわけ首都圏に集中し、首都圏から離れるほど不利になるのが現状だが、地域に密着したインターネットサービスを提供する諸団体が増えてきた。

京都 インターネットワーク京都

京都市内の居住者、事業所または事業主 (個人・法人・団体) とその勤務者、学校の在学者が対象。初期費用としてユーザー登録料の 2,000 円が必要。4 月 1 日から 9 月 30 日までは試用期間のため、会費は無料。TEL075-315-9085

電子メール query@kyoto-inet.or.jp

仙台など インターネット・フューチャ

ー(株)

サービスはダイヤルアップ IP 接続で、6 月から東京と仙台で開始。8 月以降は大阪、福岡、新潟、さらに年内をめどに横浜、八王子、札幌、広島、名古屋にもアクセスポイントが用意される。入会金は 9,000 円、利用料金は追加費用なしの月額固定料金制で 18,000 円となっている (月額にして 1,500 円)。速度は 28800pbs まで対応。8 月以降には ISDN (38.4Kbps) にも対応する予定。

FAX03-5680-8389

岐阜他 HA インターネットサービス

6 月上旬に岐阜でサービスを開始する予

定。ダイヤルアップ IP 接続 (登録料 2,500 円 / 利用料金 1,500 円 / 月)、UUCP 接続 (登録料 2,500 円 / 利用料金 1,500 円 / 月)、専用線接続 (登録料 100,000 円 / 利用料金 100,000 円 / 月) の 3 種類。アクセスポイントは岐阜に設けられるが、夏以降全国に 10 数か所設置される予定。

TEL058-253-7641 FAX058-253-7651

関西 関西インターネットビジネス協会
ビジネスにインターネットを活用しようとする関西地区の企業に対し、さまざまなサポートをすることを目的に設立された。提供する接続サービスは、低価格の専用線による IP 接続のみ。費用は共同利用の場合、入会金が 50,000 円、月額基本料が非同期通信で 33,000 円、64Kbps で 50,000 円、128Kbps で 75,000 円となっている。

TEL06-367-8868 FAX-06-360-2503

英語のWWW情報を機械翻訳 沖ソフトウェアが発売

沖ソフトウェアはサーバーマシンにインストールし、英語のWWW情報を日本語に機械翻訳するソフト「PENSEE for Inernet」(パンセ・フォー・インターネット)を5月15日より発売した。これは、SPARK-Station2以上のマシンにインストールし、そこにつながれたDOS/VやマッキントシュなどのクライアントにあるWWWブラウザと連動して動作する。英語の情報が表示された時点で画面上にある「英日翻訳」のボタンをクリックすると、日本語に機械翻訳し



翻訳前

て表示。「原文」ボタンをクリックすると、元の画面戻る。翻訳にかかる時間はA4 1枚当たり約1分。HTMLを直接解釈するのでレイアウトやリンク情報はそのまま保存される。連動するWWWブラウザはマッキントシュ用、DOS-V用、サンワークステーション用。販売価格は148,000円。単一ドメイン、1サーバー内で利用でき、ビジネス・経済用の辞書を含んでいる。技術基本、電気、情報通信、医療、自動車、化学を含む別売りの辞書が48,000円。クライアント用の発売は今秋を予定。

問い合わせ 沖ソフトウェア(株)営業部 営業第2グループ TEL03-3454-7831



翻訳後

64Kダイヤルアップ対応ISDN カードとMacWebのセット

シイエスエスは、大手サービスプロバイダーのダイヤルアップ64Kbpsサービス開始を受けて、64Kbps / PPP接続に対応したMacintosh用ISDNカード「TimeLiner」にWWWブラウザの「MacWeb日本語版」をバンドルした「TimeLinerInternetPowerPack」を販売開始した。価格は98,000円。「TimeLinerInternet64」というこのカードには、MacPPPなどのPPPソフトを64Kbps同期に変換するソフトが付いている。TimeLiner同士の通信ではISDNのBチャンネル2つを利用して128Kbpsで通信が可能。WWWブラウザ「MacWeb」は、これまで英語版のみだったが、今回日本語メニューに対応させた。画像データを表示する「JPEGView」も添付し、12,800円で単体発売もスタートした。

問い合わせ 有限会社シイエスエス
TEL03-3979-8123 FAX03-5383-7518

Windows 3.1対応の インターネットアクセスソフト

スワイヤトランステックはインターネットへのアクセスツールを集めた「Air Navigator3.0J」を販売開始した。これは昨年11月に発売した「AirSeries3.0J」からTCP/IPスタックを除いたものでパーソナルユーザー向け製品。電話回線やISDNを利用してインターネットへのアクセスを実現する。メールソフトの「AirMail」や日本語商用モザイクの「AirMosaic」のほか、ファイル転送、ニュースリーダーなどを装備。Windows3.1上で動作する。推奨RAMは8Mバイト以上。価格は1ユーザー版が19,800円、10ユーザーライセンスパッケージが99,000円。

問い合わせ スワイヤトランステック(株)
情報通信機器部

TEL03-3230-9333 FAX03-3221-7957

電子メール info@swire.co.jp

NetWare 3.12 J対応のイン ターネット接続ツール

NetWare環境からインターネットを利用する「NOVIX for Internet Access」がネットサーブから発売された。このソフトをNetWareサーバーにインストールすると、各クライアントマシンにTCP/IPスタックを実装することなく、それぞれからインターネットへアクセスすることができる。また、モザイクや電子メールのクライアント、ニュースリーダーなどのソフトも備えている。今回発売されたものは、Windows環境に対応したのだが、マッキントシュのサポートも計画中だ。価格は5ユーザー版が260,000円、10ユーザー版が450,000円、100ユーザー版2,740,000円などとなっている。

問い合わせ (株)ネットサーブ

TEL03-3462-4433 FAX03-3462-1514

西日本事業所TEL06-886-3051

日本語のTCP/IPソフト コンテックから発売

米フロンティアテクノロジー社のTCP/IPソフト「SUPER TCP/NFS4.0 for Windows」をコンテックが日本語化、販売開始した。PC-9801版とDOS/Vマシン版がある。特長は、32ビットVxDを採用して、効率的なメモリ管理を実現したこと。さらに他のネットワークOSとの同時利用を可能にしている。利用目的に合わせてTCP/IP製品と、TCP/IPにNFS(NetworkFileSystem)機能を含んだ製品の2種類を用意している。価格はTCP/IPソフトが48,000円、TCP/IP + NFSソフトが64,000円。その他10ユーザー版も標準で用意、ユーザー数が多い場合は受注生産で対応する。

問い合わせ (株)コンテック

TEL0120-13-9800 FAX03-3769-1059

マック用IIJスターキット アランから発売

マッキントッシュユーザーのためのインターネットサポートを展開する(株)アランは、IIJのダイヤルアップIP接続を簡単に始めるためのスターキット(商品名: IIJインターネットスターキット・フォーマッキントッシュ)を発売している。これは「アクセスの手引き」「アプリケーションの利用方法」という2冊のマニュアルとアクセスするために必要なソフトとして「MacTCP」「MacPPP」や電子メールソフトの「Eudra-J」、ファイル転送ソフトの「Fetch」WWWブラウザの「MacWeb」ほか多くのソフトが入っている。キットはIIJのダイヤルアップサービス向けになっているが、他の商用プロバイダーにも使うことができる。価格6,800円。

問い合わせ (株)アラン

TEL03-3449-0030 FAX03-3499-8085

学校のインターネット利用を支援 内田洋行他がパッケージ販売

学校でインターネットを利用するには、ランニングコストや技術面などハードルが高いといわれているが、内田洋行など3社が提携して小・中・高校向けのインターネット利用パッケージを発売した。商用プロバイダーのAT&T、国際ネットワーク「アピックネット」を運用するグローバルコムズが参加。システムの準備からインターネット接続、教育プロジェクトまでをパッケージ化し、それぞれが持つインターネットのノウハウを教育機関に対し低料金で提供する。具体的な料金は条件によって異なるが、AT&Tは利用料金を学校向けに通常の4分の1程度に抑えている。なお、初年度は関東・近畿地域に限定している。

問い合わせ (株)内田洋行

情報機器事業部 TEL03-3555-4559

インターネット導入サービス JCCが独自ソフトで提供

日本電算機(JCC)は、システムのセッティングから個別の利用指導までインターネットの導入を一括して請け負う企業向けのソリューションサービスを開始。ハードの紹介・販売、ソフトのセットアップ・インストール、教育サービス・セミナー・コンサルティングなどさまざまなものを用意しているが、提供するソフトは独自開発した。インターネットをアイコン操作で簡単に使えるようにした「インターネット・コマンド・ドライバー」とHTMLの知識がなくても画面を見ながらホームページを作ることができる「WWWクリエイター」。導入サービスはワークステーションを使ったパッケージでも100万円以下に設定している。

問い合わせ 日本電算機(株)

TEL03-3864-8111

ヒューコムが高速モデムと セキュリティルータを発売

通信機器を扱うヒューコムが新製品をラインアップした。

「V.34ES」は、ITU-TのV.34規格に対応した高速モデム。「V.34ES28」「V.FAST ES28」の後継機で、通信速度は28800bpsで、最大スループットは115200bps。現在、特別価格33,000円で販売。発売記念キャンペーンとして現在使っているモデムを29,800円下取りする。また、同社が発売するリモート通信ソフト「コセッション」スターキットにはこのモデムが無料添付される(5月31日まで)。

一方米ネットワークシステムズ社と代理店契約を結び、取り扱いを開始したのが「ザセキュリティルータ」。暗号化によるデータの保護とチェック機能を備えたファイアウォールルータである。

V.34に対応したPCMCIAカードモデムの「TravelCard/V.34」はこれまでの定価98,000円から68,000円と大幅に値下げ。さらにPCMCIAカードの新製品として米シンプルテクノロジー社製の14400bpsモデム「Simple144」を29,800円で販売開始している。

問い合わせ (株)ヒューコム

TEL03-5397-7077 FAX03-5397-7066



V.34ES

サン電子の28800モデムに インターネットアクセスキット

サン電子はV.34とV.fastに対応したFAXモデム「MS288AF」にインターネットへ接続するためのソフトをバンドルして発売した。製品は2種類。ひとつはNTTPCコミュニケーションズのInfoSphereへ無料アクセスできるゲストIDが付いた「MS288AF-B」で、46,800円で、限定500台の発売。もうひとつはインターネット用ソフト「Air Navigator 3.0aJ」(Windows用)が付いた「MS-288AF-I」で、54,800円。両製品ともASAHIネット、リムネットなどプロバイダー各社の案内資料が付いている。なお、サン電子は4月8日よりWWWサーバーを開設している。

問い合わせ サン電子(株)SCC事業部

TEL0587-55-3331 FAX0587-55-3308

URL <http://www.mmjp.or.jp/sunden-shi/index.html>

ザウルス用ソフト インターネットメールも対応

携帯情報端末で高い人気を誇るシャープのザウルスを、インターネットの電子メールサービスに直接接続するUNIXワークステーション用のソフトがフリーソフトとして公開された。ftp サイトは naragw.sharp.co.jp/pub/ZAURUS/ZIM/。このソフトをサーバーにインストールすると、ザウルスからインターネットへメールを送信したり、インターネットからのメールをザウルスのメールに変換することができる。形式はMIMEに準拠している。

シャープでは、現在、ザウルスの周辺ソフトの整備を進めている。「ザウルスcc:mailゲートウェイソフト」(オープン価格)は、ザウルスをロータスcc:mailの端末として使うためのソフト。また、「ザウルスリモート」(25,000円)は、外出先からの情報検索やデータの送受信を行うソフト。

表計算ソフト「エクセル」との連携が可能な「ザウルスオフィス」(30,000円)、PC-9801やDOS/Vといったパソコンで開発したソフトをザウルスで活用するためのAddin開発ツール(10,000円)も発売される。

問い合わせ シャープ

大阪TEL06-621-1221

東京TEL03-5261-7271



デジタルムーバとの組み合わせ

オムロンも28800bps モデムとカードモデムを発売

オムロンは、3月から、V.fastおよびV.34規格に対応した通信速度28800bpsのFAXモデムを発売している。製品名は「ME2814B」。Windows用のソフトが添付されたパッケージとマッキントッシュ用のソフトがついたパッケージ(ME2814B-M)がある。価格はどちらも39,800円。Windows用には、QuickLink II FAX for Windows、98ユーザー向けのFAXソフトの信乃助、パソコン通信ソフトのWTERM(スーパーバージョン)が付いている。マック用にはMacComCenter。

オムロンでは、PCMCIAカードタイプの14400bps通信に対応したFAXモデム「ME1414C」も発売している。PC98、およびDOS/V用で、価格は33,800円。

問い合わせ オムロンTEL045-411-7223

オフィス利用のためのカード モデムのバリューパック

インテgranは、PCMCIAカードタイプのFAXモデムが5台1組になった「メガパック5」を販売開始した。

モデムは、14400bpsの「XJ2144」。1台では44,800円という製品だが、5台セットになったことで198,000円とディスカウントされている。なお、FAX通信用のソフトは添付されていない。また、同社では、モバイルコンピューティングの利用者向け製品として、「XJ2144」に米シマンテック社製のリモートアクセスソフト「pcANYWHERE」をセットした「スーパーリモートパック」を発売した。Windows版のFAX機能付き通信ソフト「QuickLink II FAX」も付いて価格は79,800円。

問い合わせ インテgran(株)

TEL03-5482-6009

インターネット専用サーバー NECから発売

NECは、インターネットを使うためのさまざまなソフトを内蔵した専用サーバー「Goah(ゴア)」を発表した。ネットワーク上のパソコンやワークステーションを束ねてインターネットに接続するための装置だ。今回発売されたのは、MPUにR4600を搭載、525Mバイトのハードディスク装置を内蔵したハード2機種と、ソフトウェアのパッケージ1種の全3製品。

まず、PPPをはじめインターネットの運用に必要なソフトを搭載し、ルーターが不要なハード「ネットワークサーバー」。NECのインターネットサービスmeshの「mesh anonymous FTPサービス」に簡単にアクセスできる。価格は900,000円。外部からの不正なアクセスを防ぐ「セキュリティサーバ」が1,290,000円。これはファイアーウ

ール構築に必要なソフトがインストールされている。WWW、WAIS、Gopher、FTPなどのソフトがセットになっている「情報発信サーバ」は200,000円。

問い合わせ NECワークステーション・サーバ販売推進本部第二市場開拓部

TEL03-3798-9547

電子メール hansoku@wsd.ho.nec.co.jp



インターネットサーバGoah

災害時の安否情報確認システム 三菱総研がインターネットで実験

三菱総合研究所は、大規模災害時に都心の業務地域と郊外の居住地域との間で安否情報を交換する「広域安否情報ネットワーク・システム」の実験を実施する。これは同社が進めている「異業種交流インターネット利用研究会」の共同実験プロジェクトとして計画しているもので、通常は参加企業が電子商取引などの商用利用を行うが、災害発生時には災害モードに切り替え、各企業が拠点となって安否情報を交換する。具体的には実験に参加する企業の協力を得て、地域に安否情報サーバーを分散配置する。構想はシステム特許出願中で、実験終了後は、担保・ホテル・コンビニなどの企業と共同で事業化を目指す意向だ。

問い合わせ (株)三菱総合研究所
TEL03-3277-0550

神戸の企業を相互支援する プロジェクトが発足

阪神大震災の被災地である兵庫・神戸・阪神・淡路の企業がビジネスの再建で連携を図ろうと「インターネットビジネスネットワーク:IBN」が発足した。呼びかけ人は村上正光氏(イケダ機器工業)やビデオジャーナリストの神田敏晶氏など6人。ビジネス展開のためには新しい情報インフラの提示と整備が必要と考え、4月14日からインターネットのWWWサーバーを通じて参加企業の紹介、製品のアピールを始めている。4月14日現在6社が参加しているが、他社にも呼びかけ、共同でショッピングモールも作る意向。IBNのページには神戸市のページからもアクセスできる。問い合わせ ヤノ電器(株)C&E事業部内
インターネットビジネスネットワーク連絡所TEL078-974-2931
URL <http://www.meshnet.or.jp/ibn/>

技術系学生のための リクルーティング実験

就職情報誌「TheInter」を発行するユー・ピー・ユーでは、WWWサーバーを利用した企業の採用情報提供を開始した。これは、技術系大学生を対象に、各社の採用実績、技術・研究情報を提供している。また、そこからリンクされた詳細な企業情報へアクセスできるようになっている。学生から企業へのアプローチについても、メールボックスを用意して、電子メールで受け付ける。同社では新しい採用システム「ネットワークリクルーティング構想」の共同実験と位置付け8月まで実験を行う。参加企業は、アイシン精機、日本長期信用銀行、マイクロソフトなど9社となっている。問い合わせ (株)ユー・ピー・ユー事業推進部TEL03-5397-2320 FAX03-5397-2334
URL <http://www.ijnet.or.jp/UPI/inter.html>

セキュリティ技術の実用化を 目指す認証実用化実験協議会

インターネットの利用形態が広がるなかで、エレクトリックコマース(電子商取引)への期待が集まるなか、データのセキュリティ技術に対する要請も高まっている。このたび暗号技術を応用したデータの認証技術に関する課題を考え、実用化に向けてオープンな調査・研究を行おうと「認証実用化実験協議会」が設立された。

アスキー、IJJ、情報処理新興事業協議会、NEC、富士通、WIDEプロジェクトが発起人となっている。

データの認証技術に関する相互運用性確保のための調査・研究、公開鍵登録システムに関する技術的・制度的な検証・課題の抽出などを行なう。

事務局は(財)日本情報処理開発協会(JIPDEC)。

住友クレジットサービスが 資金決済の利用実験

VISAカードでおなじみの住友クレジットサービスが、インターネットの資金決済の実験を行う。凸版印刷が手がける「サイバパブリッシング・ジャパン」という仮想モールに出店し、同社のVISAカードを利用できるようにした。今のところは、エスシー・カードビジネスと共同で、同社が販売する販売するハンドブックやレジャー用品を通信販売するときの決済手段としてVISAカードが利用できる。今後、住友クレジットでは、インターネットでの商取引が拡大するものとして、安心して利用できる決済システムの開発をめざしている。実験と並行して、入会申込みや各種サービスの提供を段階的に実施していく予定だ。URL www.toppan.co.jp(サイバパブリッシングジャパン)

リクルート情報誌のWWW 「MIX JUICE」オープン

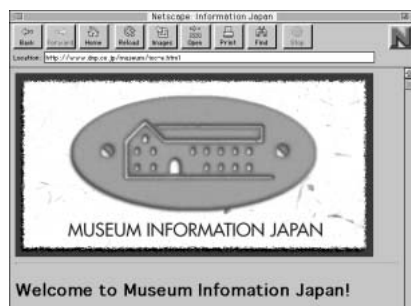
さまざまな情報誌を出版するリクルートがWWWサーバー「MIX JUICE」をオープンした。同社の出版物の編集記事の紹介はもちろんのこと、リクルートメディアデザインセンターが扱うソフトのオンラインショッピング、リクルート人材情報センターへの人材登録受付、コンピュータ関連を中心にした求人情報、音楽情報、展示会の作品紹介など、いろいろな分野の情報を提供している。また、一部ページでは英語の情報も提供する。

リクルートは、88年からアメリカ西海岸と専用線を結び、WIDEプロジェクトにも参加していた。今回の実験はインターネット利用者の情報ニーズを探ることを目的に、6月までの期間に限定して開設した。URL <http://mixj.recruit.co.jp/>

大日本印刷が美術館情報の配信実験

昨年12月に開設された大日本印刷のWWWページのなかで、「美術館メディア研究会」が日本の美術館情報を世界に提供するサービスを始めた。サービス名は「Museum Information Japan」。美術館メディア研究会は学芸員の有志が集まり、今年度はインターネットを美術館の広報媒体と利用していく実験を行う。

URL <http://www.dnp.co.jp/>



Museum Information Japan

電話、FAX、インターネットで参加するイベント NTTパワーネット開催中

通信回線を使ったユニークなイベントが開かれている。NTTが主催し、エフエム東京、ローランドが協力している「NTTパワーネットVol.0クラブヘトロ」。電話、FAX、インターネット、FM番組からなる通信回線上のイベントとオフラインのイベントをシンクロさせようというもので、10代後半から20代前半の若い世代をターゲットに新しいコミュニケーション環境を作ろうという試みだ。インターネットでは情報を引き出したりリクエストをしたり、アーティストのメッセージも聞ける。7月まで開催中。

NTTパワーネットチャンネル

TEL / FAX03-3663-7701

インターネットのURL

<http://www.ntt-ad.co.jp/ntt-powernet/>

FMプログラム

NTTパワーネット特別番組 / TOKYO FM

5月28日(日) 19:00から19:55

7月9日(日) 19:00から20:50

以下は、オフラインのイベント。

クラブヘトロPart1

5月22日(月) 渋谷のビーム17:00 ~ 無料。
東京スカパラダイスオーケストラ、高城剛
によるエキシビジョン、トークセッション

クラブヘトロPart2

7月2日 内容・場所はパワーネットチャンネルへアクセスして確認する。



NTTパワーネット

ラテラネットワークが旅行情報のWWWサーバー

全国の旅行会社にガイドブックを制作販売しているラテラネットワークは、WWWサーバーを使った旅行情報サービスを開始した。日本人の海外旅行者向けには世界の旅行情報サーバーを紹介。また、海外からアクセスする人向けには日本国内の旅行や文化情報を英語で紹介するサーバーをリンクして提供。そのほか独自の旅行に関するハウツー情報を提供する。同社では中小企業向けのホームページ制作代行など、インターネットのコンサルティング事業も展開する。

問い合わせ (株)ラテラネットワーク

TEL03-5449-3425

URL <http://www.mmjp.or.jp/laterra/>

index.html

コンピュサーブがマルチメディア通信を開始

米パソコン通信大手のコンピュサーブと富士通が提携してマルチメディア通信サービス「World Away」がスタート。現在のパソコン通信にバーチャルワールド(仮想社会)を構築、アニメで作られた街や家を自由に歩き回りながら他のメンバーとコミュニケーションする。ニフティのハピタットを経由すれば日本からも利用可能。

World Away

千葉市の公式WWWサーバー 市政情報発信実験

千葉市では、市で構築を予定している「総合情報提供システム(仮称)」の一環として、WWWサーバーによる市政情報の発信実験を4月20日よりスタートした。千葉大学工学部電気電子工学科池田宏明教授が技術協力。研究室に設置されたコンピュータから画像情報を発信し、その活用方法を探ることを目的としている。千葉市としての技術修得のため、研究室に職員を1年間派遣することも併せて検討している。実験システムの画像制作は千葉市の第3セクターであり、重度障害者の雇用企業でもある(株)千葉デ・タセンタ-が作成する。

URL 英語 <http://w3.hike.te.chiba-u.ac.jp/ChibaCity/>

URL 日本語 <http://w3.hike.te.chiba-u.ac.jp/ChibaCity/index-j.html>



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp